

構成する施策

- 68 道路ネットワークの充実
- 69 安全で快適な都市環境の整備・保全
- 70 都市防災の強化

政策21 道路の整備

目標

歩行者の安全確保と交通の円滑化に視点をおきながら、良好な景観を備えた道路・歩道・自転車道の整備を促進していきます。

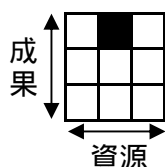
基本方針

将来交通量や流通ニーズ、非常時への対応および市民の日常生活上の移動が容易にできるような道路ネットワークを確立します。
人にやさしく安全で安心して利用でき、生活空間としても楽しめる道路づくりを推進します。

考え方

政策の方向性

箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度は高く、満足度は極めて低いことから、市民ニーズ度は極めて高くなっている。高齢時代を迎え、誰もが安全・安心に移動するしくみを構築するため、歩道段差改良などのバリアフリー化や道路ネットワークの充実がさらに求められている。今後も、計画的に整備を進め、資源は「維持抑制」とし、市民が成果を実感できるよう、着実に成果を「向上」させていくものとする。



成果	向上
資源	維持抑制

社会状況の変化

全ての取り組みにおいて、より一層バリアフリー化が求められるようになっている。

これまでの取り組み

- ・道路ネットワークを充実させるための都市計画道路の整備においては、都市計画道路小野原豊中線及び都市計画道路萱野東西線を整備してきた。
- ・街路灯の設置、道路反射鏡の設置を行い交通事故の防止を図ってきた。
- ・歩道段差改良工事等を実施して、「箕面市交通バリアフリー基本構想」の推進を図ってきた。

課題

- ・かやの中央(箕面新都心)など、まちびらきに伴う交通量の増加による交通渋滞への対応が必要である。
- ・歩道段差改良割合は増加しているが、段差及び障害物による移動に不便を感じている人も増加しており、引き続き段差の改良を行う必要がある。

成果指標名

基準値 → 目標値

指標	都市計画道路整備率	51.0 % → 63.0 %
根拠	交通渋滞の解消、まちづくりと整合した道路ネットワークの確立のため、都市計画道路の整備を推進しており、その整備率を指標とする。平成22年度までの整備予定延長による整備率である63.0%を目標とする。	
指標	歩道段差改良割合	81.0 % → 85.0 %
根拠	誰もが安心して通行できる道路整備を促進するため、歩道段差改良割合を指標とする。平成18年度までの施工実績により年間20か所程度を整備目標として85.0%を目標とする。	
指標	狭あい道路側溝整備(申請)件数	826 件 → 986 件
根拠	緊急車両の運行確保や延焼防止など防災の強化を視野に入れた道路整備を促進するため、狭あい道路側溝整備(申請)件数を指標とする。平成18年度までの申請実績により、年間40か所程度の整備(申請)を見込み、986件を目標とする。	